

国立大学法人島根大学役員会（第351回）＜議事要録＞

日時 令和2年5月12日（火） 14:00～15:30
場所 本部棟3階 特別会議室（WEB会議利用）
出席者 服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，長澤理事，上野理事
欠席者 宮脇理事
〔陪席：千家監事，篠塚監事，企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，医学部事務部長，自然科学系事務部長，企画広報課長，教育企画課長，総務課長，財務課長，施設企画課長，医学部総務課長，監査室長〕

議題1 令和2年度研究推進に係る研究支援事業について

- 秋重理事から令和2年度研究推進に係る研究支援事業について説明があった。
- 篠塚監事から科研費の採択件数はUR Aによる申請支援によって大学間でかなり差が出るため、本学でのUR Aの設置状況について確認があった。秋重理事からUR Aは3人で、分析や文系教員への申請書の書き方支援を行っているとの回答があった。
- 篠塚監事から研究分野は非常に広がってきているため、さらにUR Aを充実させるよう意見があった。学長から全学の人件費を考慮しながら検討したいとの回答があった。
- 千家監事から議案概要説明書に記載のある人文・社会科学系の英文論文の投稿が科研費獲得に相関関係があるという点について確認があった。秋重理事からUR Aの分析では、論文数と科研費採択件数は相関関係があるため、論文を出すことが科研費獲得に繋がり、特に文系分野では英文論文はインパクトが高く、科研費の申請書にも影響するとの説明があった。
- 学長から今年度の対応としてUR Aが申請書を事前に確認するのであれば、申請書の学内締め切りを早めにして、UR Aに少しでも多くの申請書を確認してもらえるようスケジュールを見直すよう意見があった。秋重理事から対応するとの回答があった。
- 以上の質疑応答ののち、原案どおり議決された。

議題2 職員宿舎の集約・維持等に係る基本方針の策定について

- 長澤理事から職員宿舎の集約・維持等に係る基本方針の策定について説明があった。
- 篠塚監事から本件は以前から課題とされている事項であるため、居住者の不便とならない部分については、もっとスピードを上げて取り組むべきではないかとの意見があり、長澤理事からできる限り早急に対応するとの回答があった。
- 千家監事から島根大学ではSDG sの取り組みを含めた宿舎の見直しを行っているということが学内外にわかるようSDG sへの取り組みも含めた事業にしてほしいとの意見があり、対応することとして、原案どおり議決された。

議題3 島根大学医学部附属病院長候補者選考会議委員の選出について

- 学長から島根大学医学部附属病院長候補者選考会議委員の選出について説明があり、原案どおり議決された。

議題4 令和2年度及び令和元年度コンプライアンス・プログラムについて

- 藤田理事から令和2年度及び令和元年度コンプライアンス・プログラムについて説明があり、あわせて令和元年度で積み残した事項については、今年度実施するとの説明があった。
- 千家監事から次年度に向けて、国立大学法人ガバナンスコードにはコンプライアンスに関して行動規範の教育や見直しについての記載があるため、現在の「研修」と「規則等の整備」の項目に加え、3つ目の項目として「行動規範」の項目を挙げ、コンプライアンス・プログ

ラムの中に行動規範も盛り込むよう意見があった。藤田理事から次年度以降検討したいとの回答があり、原案どおり議決された。

報告事項 1 令和元年度設置計画履行状況等調査の結果について

- 学長から令和元年度設置計画履行状況等調査の結果について報告があった。

報告事項 2 令和元年度研究プロジェクトの評価について

- 秋重理事から令和元年度研究プロジェクトの評価について報告があった。

報告事項 3 令和元年度資金運用報告について

- 長澤理事から令和元年度資金運用報告について報告があった。

報告事項 4 令和2年度の部局評価について

- 学長から令和2年度の部局評価について報告があった。

報告事項 5 「授業目的公衆送信補償金制度」の施行に係る届出について

- 藤田理事から「授業目的公衆送信補償金制度」の施行に係る届出について報告があった。

報告事項 6 附属病院運営状況について

- 井川理事から附属病院運営状況について報告があった。

報告事項 7 第180回教育研究評議会の議題等について

- 学長から第180回教育研究評議会の議題等について報告があった。

学長から地方大学・地域産業創生交付金事業について、日立金属株式会社の検査に関する不適切行為の報道があったが、計画に従って事業を進めていくとの報告があった。あわせて、新型コロナウイルス感染症が拡大する中での事業の進捗について報告があった。

篠塚監事から大学として事業のリスク管理やシミュレーションをすべきではないかとの意見があった。